

人にやさしい街づくりを推進中

(株)豊橋まちなか活性化センター（愛知県豊橋市）

花園商店街の位置



花園商店街の概要及び事業概要

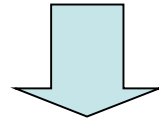
- ・ 中高年の女性を対象とした衣料品店が、店舗の3分の2以上を占め、かつては衣料品の町として栄えていた。
- ・ しかし、客層の高齢化が進むとともに、『お年寄りのまち』というイメージが定着。やがて客足も減少し、空き店舗が目立つようになった。
- ・ そのような中、平成13年からNPO法人『東三河ハートネット』と地元の豊橋技術科学大学研究室と連携して「人にやさしい街づくり」をテーマに活動を開始。

花園商店街の概要及び事業概要

- ・平成14年度に、市民団体である『車いすを楽しむ会』が、空き店舗対策事業の一環として、福祉や介護用品の店である車いす工房『Kファクトリー』を開設。

豊橋商工会議所 事務局長 星野 君夫 氏へのインタビュー

Q. 活性化事業を始めた経緯について



これまで元気のなくなってきた商店街に、不足業種の誘致、
チャレンジショップ事業を行ってきた。

さらに、これからの街づくりの要素として、
「安心・安全な街づくり」が重要と考え、
福祉面・文化面で強化することに。

Q. 車いす工房について

- ・平成14年度に、国（中小企業庁）、豊橋市の補助事業で開設。
（空き店舗対策事業）
- ・障がい者の働く場でもある
 - ・パン工房「ラ・バルカ」 は障がい者が立ち上げて運営。
 - ・ソワンエステティック 「ステップ」がオープン

※ソワンエステティックとは

人間の心と体に満足や快感を与え、エステティックの目的である心の緊張を解きほぐし、内面から輝きある美しさを引き出すリラクゼーション及びストレス解消の技術

車いす工房Kファクトリー 代表 小杉 健次 氏へのインタビュー

Q. 「車いすを楽しむ会」が発足した経緯について

-
- ・ **24**歳の時に自分がケガで車いす生活に
 - ・ 街なかで車いすの人を見かけることが少なく、「街に出よう」というアイデアでアンケートを実施。「店舗内の様子がわからない」という意見が多かった。

車いす工房Kファクトリー 代表 小杉 健次 氏へのインタビュー（つづき）

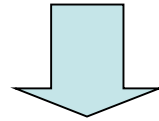
車いす安心マーク

- 車いすの人が安心して店舗を利用できるように、車いす安心マークの普及活動を実施。
- その活動の中から、仲間たちで「車いすを楽しむ会」を発足。



車いす工房Kファクトリー 営業担当 中村 克也 氏へのインタビュー

- Q. Kファクトリーの事業内容について



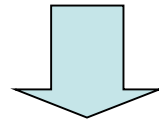
従業員は社長の他**2名**（車いすの者**2名**、健常者**1名**）

事業内容は、

- 車いすのオーダーメイド
- 修理・販売
- 住まいのバリアフリー化

車いす工房Kファクトリー デザイン担当 原田 昌宏 氏へのインタビュー

Q. 商店街にKファクトリーができたことでどのような変化があったか



特段用事がなくても訪れる人がいるなど、
障がい者と健常者の交流が増えた

花園パン工房「ラ・バルカ」 代表 夏目 浩次 氏へのインタビュー

Q. 店をオープンしたきっかけについて

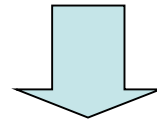
- ・街なかさがさびれてゆくのを何とかしたい
- ・「障がい者も街へでよう」というKファクトリーの呼びかけに共鳴

Q. 従業員構成について

→ スタッフは7名（うち3名は障がい者）

ソワンエステティック「ステップ」 代表 宮副 幸子 氏へのインタビュー

Q. 店をオープンしたきっかけについて



花園商店街に関する新聞記事に触発された。
病院の患者さん向けのエステを行っていたことから、
商店街の街づくりのテーマにも合うと考えた。

関連URL

- 株豊橋なかまち活性化センター
(<http://www.toyohashi-cci.or.jp/machi/center.html>)
- 車いす工房：Kファクトリー
(<http://www2.sala.or.jp/~kfactory/>)
- 車いすを楽しむ会
(<http://www.tsc.co.jp/~dream/index.html>)